

# チーム

東中学校  
女子バレーボール部通信  
NO. 181号  
9月19日(木)

## 「ユニフォームを着る」ということ

「自分たちの学校名が入ったユニフォームを着るということは、そんなに軽いものではない。部員の代表としての気持ちはもちろん、学校を代表するという自覚をもってプレーしなくてはいけない。」

日曜日の練習試合は、新人戦も近くなってきたので、大会形式で行い、新チームになり始めてユニフォームを着用しました。コートに立つことができなかつた人もいましたが、試合ごとにメンバーを変更したので、全員がユニフォームを着用しました。みんなのバレーノートにも書いてありましたが、やはりユニフォームを着るということは特別なものです。普段の練習試合とは、ひと味もふた味も違った緊張感があつたかと思います。

上にユニフォームを着たみんなに投げかけた言葉（少し熱くなつていたのでうる覚えですが・・・）を載せました。

**“もっとユニフォームを着るということに責任をもってほしい”**

**“ユニフォームを着る誇りを感じてほしい”**

という思いからわき出てきた言葉です。先生自身、学生時代は試合前（前日）に配られたユニフォームは、いつも枕元に置いて寝ていました。明日からのハーベストカップも私的な大会とはいえ、全チームユニフォームを着用します。“責任”と“**誇り**”を胸に戦いましょう。



## 【いろいろなことを学ぶ場】

明後日からの2日間、たくさんのチーム・プレーヤー（仲間）と出会います。その出会いの一つ一つを大切にしましょう。そして、その出会いからいろいろなことを学びましょう。技術面はもちろん、姿勢・声・動きなど、全ての面で必ず学ぶことはあるはずですが、大切なのは、自分自身の“学ぼうとする姿勢”です。



## 【保護者の皆さんへ】

明後日から二日間、『ハーベストカップ』になります。

新人戦を前に、

- ユニフォームを着て、大会形式という真剣勝負の場で戦えること
- 他地区のたくさんのチームと試合ができること
- 普段とは違った会場・環境で過ごせること

など、子どもたちにとっては貴重な経験になるはずですが、遠方になりますが、お時間があればぜひ会場に足を運んでいただき、子どもたちの頑張りをご覧頂きたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

